

令和4年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立男女共同参画・青少年センター

評価項目	評価基準	評価委員会の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 提案の履行状況に関する項目				
(1)施設の設置目的及び管理運営方針	・施設の設置目的である府の男女共同参画施策及び青少年育成に沿った施設運営や取組が計画的に行われているか。	○10代中高生のためのスペースについて、近隣の学校に出向いて広報・周知を行うなど、さらなる利用促進を図りたい。 ○大学や学生、関係団体等との連携を図り、青少年育成への支援・取組を強化されたい。	○10代中高生のためのスペースの利用促進に向けて、近隣の学校に出向いて広報・啓発に積極的に取り組むよう、指定管理者に要請する。 ○青少年育成に関するニーズを具体的に把握の上、大学や学生、関係団体等との連携を図り、青少年育成への支援・取組を強化するよう、指定管理者に要請する。	令和4年度に、ドーンセンター府内の中学・高校100校あまり及び図書館など公共施設に対し、夏期冬期の会議室の自習室開放のチラシを発送。また第4四半期には近隣校にチラシを持参し、配布を依頼した。 令和5年度も引き続き、学校や公民館・図書館等との標記を含めた情報の連携を行い、青少年育成への支援・取組を強化する。特に近隣校のさらなる掘り起こしを行いたい。
	・コンシェルジュ機能人材の配置等により、新たな利用者層の獲得や館のさらなるにぎわいや活性化に資する取組が行われているか。			
	・企業、大学等の教育機関、NPO等との連携・ネットワークを活かした取組が行われているか。			
	・社会貢献活動や法令遵守の取組が行われているか。			
(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	・予約の受付や目的利用の判断等において、公正かつ透明性を確保した対応が行われているか	○来館者の安心感につながるよう、1階の総合受付カウンターの人員配置体制について検討されたい。	○会議室等の予約状況を踏まえ、来館者、特に障がい者や高齢者等の安心感につながるよう、1階の総合受付カウンターの人員配置体制について検討するよう、指定管理者に要請する。	1階総合受付カウンターの人員の配置については、令和4年度の対応実績を踏まえたうえで、土日や大規模イベント等に合わせ、効率的な配置を行う。 また障がい者団体の利用など配慮や援助が必要な可能性のある団体の利用時や、来館者が集中する時間帯には複数配置するなど、より柔軟な配置を心がけたい。
	・利用者団体登録制度に関する審査等が適切に行われているか			
	・障がい者、高齢者等に配慮した取組が行われているか			
(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	・ロビーや情報ライブラリー等館内施設を活用した取組が行われているか	○オンライン会議が主流化してきている現状を踏まえ、安定したインターネット環境の提供に努めていることは評価できる。ドーンセンターのホームページについて、会議室の規模、料金、予約状況、オンライン会議の可否など、よりわかりやすくなるよう工夫されたい。	○ドーンセンターのホームページで発信している様々な情報が、よりわかりやすいものとなるよう、指定管理者に要請する。	利用者へのアンケートを行い、改善点を具体的に絞り込み、現ホームページの改修やSNSを活用した動画配信サービスの実施を検討し、よりダイレクトで分かりやすい情報発信を心がける。また検索エンジンやSNS検索でも上位に浮上できるよう、投稿やポータルサイトへの掲出を検討する。
	・会議室・ホール等の利用時間や日数の拡大等による利用促進が図られているか			
	・施設の戦略的な広報や認知度向上に向けた取組が行われているか			
(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	・施設全体の保守、点検、維持管理について計画に基づき適切に行っているか	○施設の老朽化に伴う修繕対応については、中長期的な視点により計画的に実施されたい。	○施設の老朽化に伴う修繕対応にあたっては、長期的な視点での修繕計画、中長期修繕計画に基づいた年次計画を策定し、計画的に実施するよう、指定管理者に要請する。	施設の老朽化に伴う修繕対応については、中長期修繕計画に基づき年次計画を作成する。また、老朽化や災害等により突発的な対応が発生することも想定し、実情に合わせて都度柔軟に見直しを行うとともに急な修繕にも対応できるよう、弾力的な予算執行を心がける。
	・施設管理や安全衛生管理、危機管理に関する対応マニュアルを作成するとともに、適切に対応できる体制が取られているか			
	・新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じ、施設が安心、安全に利用できる対策がとられているか			
II				

(2)その他創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・その他指定管理者による自主事業やサービス向上につながる取組、創意工夫が行われているか 	○潜在的なニーズを掘り起こし、利用者目線に立った新たな取組を実施されたい。	○オンライン会議等の利用の増加など、利用者の行動変容を踏まえ、利用者目線に立った新たな取組を実施するよう、指定管理者に要請する。	オンライン会議等利用者のニーズに合わせた検討を行い、ハイブリッド型会議に対応できる備品を充実させた。中・大会議室には説明書を備えた「オンライン会議セット」を完備した。また上記修繕計画に、より安定的に web 回線を使用できるよう、有線 LAN の拡充を視野に入れた内容を盛り込むなど、利用者アンケート等を参考に策定する。
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目				
(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・収入の確保や経費の効率的、効果的な執行、削減等、安定的な収支計画に向けた取組を行っているか 	○収支状況を踏まえ、運営に見合った人員配置となっているか、精査されたい。	○収支状況を踏まえ、運営に見合った適切な人員配置となっているか精査するよう、指定管理者に要請する。	<p>安定的な運営のための人員配置を行い、過剰、もしくは過少な配置とならないよう、常に努力を行う。館の特性上、利用予約がなくても一定の人員を配置する必要があることから、目先の利益にとらわれすぎず、日々の業務改善や広報・事業のアイデアを職員一人ひとりに考えさせる姿勢を植え付けていき、業績の改善へつなげる道を模索したい。</p> <p>例) 利用受付は先着順であるため、電話中心になることはある程度は仕方ないが、問い合わせなどについては、メールやチャットサービスを導入検討するなど省力化を図る施策を模索していきたい。</p> <p>経費節減策として工事発注先の精査、適切な人員の配置を行うことで、より無駄を省いた運営を行うことを目指す。同時に「老朽化を感じさせない維持管理」を実行し、来館者・利用者にとって心地よい空間を提供することに努めるとともに、広報にも力点を置き、ひいては新たな利用者層を獲得し収入増へ繋げていきたい。</p>
(2)安定的な運営が可能となる人的能力	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に必要な人員数を確保、配置しているか ・要資格者や専門性、技術を要する職員等を確保し、配置しているか ・業務従事者の管理監督体制、責任体制は適正であるか ・業務従事者に対する研修が行われているか 	○収支状況を踏まえ、運営に見合った人員配置となっているか、精査されたい。	○収支状況を踏まえ、運営に見合った適切な人員配置となっているか精査するよう、指定管理者に要請する。	職員に対し、当館の設立目的である男女共同参画や青少年健全育成について、研修の受講や自学ができる環境を整え、一定の知識を備えさせたうえで、安定的な運営のための人員配置を行い、過剰、もしくは過少な配置とならないよう、常に努力を行う。また専門性、資格を有する職員についても、安定的継続的に確保、配置を行う。
(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・損失状況やキャッシュ・フロー等経営状況が健全であるか 	○前受金収入が減収しているのであれば、資金不足に陥らぬよう、当初計画を見直し、増収・経費削減の取組を行われたい。	○当初計画の見直しも含め、安定的な運営が可能となる財政基盤の構築に取り組みされるよう、指定管理者に要請する。	令和 4 年度は残念ながら大きな赤字を計上することとなったが、当初計画や 4 年度の業務遂行状況の見直しを行い、上記までの増収策、経費節減策を可能な限り実行に移していくことで、経営状況の改善を図っていきたい。